

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

※職員7名が回答しました。

ケアステーション魚沼

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3	2	2		・たくさんの利用者がフロア上に降りて過ごしている為、怪我がないように注意が必要。
	②	職員の配置数は適当であるか。	3	4			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	6		1		・利用者が使用できる手洗い場があると良い。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	1		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2			
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7				
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	3			・施設内で職員が持ち回りで勉強会を実施している。 ・園外や長岡療育園での研修に参加している。 ・園外研修の機会の確保が難しい。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1			
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6	1			
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動、集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	4	3			・発達段階に応じての支援が出来ていないように思う。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	1			
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7				・毎日振り返りを行い、次の支援につなげている。
	⑮	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1			・記録を残し、振り返りについて職員間で共有している。
関係	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6		1		
	⑱	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6	1			

機関や保護者との連携	⑲	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	5	2			・地域や圏域の自立支援協議会へ参加し、関係機関で情報共有を行っている。
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	6	1			・学校からの見学の受け入れ、支援者会議に参加して情報共有を行っている。
	㉑	他の児童発達支援センター児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2	3	2		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1			
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか。	7				
	㉔	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか。	5	2			
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	4		1	・家族会の活動を紹介しているが、保護者に伝わっていない事もあった。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			1	・多職種の職員が、それぞれの専門性により、支援を行っている
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1			・月間予定の中で、活動概要を周知している。 ・長岡療育園の広報誌に、当事業所の活動内容を記載している。
	㉙	個人情報に十分注意しているか。	7				・個人情報への配慮について、より意識が高まっている。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	1	1	・緊急時、防犯、感染症の発生を想定した訓練を行っていない。 ・出入口の施錠をしっかりとしなければいけない。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				・火災訓練だけでなく、水害を想定した訓練も実施している。（避難場所へ車で避難）
	㉒	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7				
	㉓	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		1	3	
	㉔	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7				・ヒヤリ・ハット事例について、その都度記録を残し、職員間で改善点を協議している。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				・施設長が中心になり、虐待に対しての研修を実施している。
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		1	・契約者の中に、やむを得ず、身体拘束を行う利用者はいない。